

■ 評価案

・評価は現状と比較し、項目ごとに判定

凡例（判定）
◎：現状より「向上」 ○：「現状維持」 もしくは「一長一短」 △：現状より「低下」
※評価軸⑤のコストの評価のみ 削減効果が高い案の順に「◎」、「○」、「△」と判定

評価軸	I 案 コミセン棟大規模改修	II -①案 新築	II -②案 新築 運動室設備充足版	III 案 いすろぎ荘を大規模改修し増築
① 健全育成に資する子どもが安全に遊び・過ごせる運動ができる場が確保されている	△ ・設備(天井高やバスケットゴールなど)が現状どおりではなく、一般的な運動可能なホールとなる。	○ ・設備(天井高やバスケットゴールなど)のすべてが満たされない場合が想定される。 ・エアコンなど空調設備の整備により使い勝手が向上する部分もある。	◎ ・現状とおりの設備となる。 ・エアコンなど空調設備の整備により使い勝手が向上する部分もある。	△ ・子どもの居場所・遊び場機能を小学校空き教室で担うため常設拠点とならない。
② 年代を問わず乳幼児から高齢者まで、いつでも誰でも遊びや健全育成、自習等で利用できるフリースペースが確保されている	○ ・これまで通りフリースペース部分を確保できている。	◎ ・より大きなフリースペース部分を確保できる。 ・自由なレイアウトで確保できる。	△ ・大きいフリースペース部分を確保できない。 ※フリースペースを確保するには貸室などの面積を減らす必要がある。	○ ・これまで通りフリースペース部分を確保できている。
③ 地域の集会やサークル活動等が十分できる貸室が確保されている	○ ・現状より総面積は減るが、運動室を子どもの利用時以外は貸室として利用できるようになり大きな部屋の使い勝手が向上する。	○ ・現状より総面積は減るが、運動室を子どもの利用時以外は貸室として利用できるようになり大きな部屋の使い勝手が向上する。	○ ・現状より総面積は減るが、運動室を子どもの利用時以外は貸室として利用できるようになり大きな部屋の使い勝手が向上する。	△ ・現状より総面積は減る。
④ 災害時の機能が確保されている	○ ・現状と同じ避難所機能を備える。	△ ・洪水時の避難場所としての機能がなくなるが、周囲に避難所があり、水害時避難であれば、浸水が始まる前から避難情報が発令され、避難時間が確保される。 なお、直近の実績で、コミセンへの避難者は確認されていない。	△ ・洪水時の避難場所としての機能がなくなるが、周囲に避難所があり、水害時避難であれば、浸水が始まる前から避難情報が発令され、避難時間が確保される。 なお、直近の実績で、コミセンへの避難者は確認されていない。	△ ・洪水時の避難場所としての機能がなくなるが、周囲に避難所があり、水害時避難であれば、浸水が始まる前から避難情報が発令され、避難時間が確保される。 なお、直近の実績で、コミセンへの避難者は確認されていない。
⑤ 過度な財政負担を将来世代に残さないよう工夫されている	○ ・30年の運用コスト、施設改修や修繕等に係るコストの合計が現状と比較して3.8億円安くなる。 ※ただし、40年後に耐用年数を迎えるため再考が必要。	○ ・30年の運用コスト、施設建設や修繕等に係るコストの合計が現状と比較して3.5億円安くなる。	○ ・30年の運用コスト、施設建設や修繕等に係るコストの合計が現状と比較して3.5億円安くなる。	◎ ・30年の運用コスト、施設建設や修繕等に係るコストの合計が現状と比較して7.4億円安くなる。 ※ただし、40年後に耐用年数を迎えるため再考が必要。
⑥ 新たな施設の供用開始まで各施設の機能が継続されている	△ ・改修工事が完了し全館コミセンとして運用開始されるのは令和11年度。 ・工事を実施する令和10年度にコミセン棟部分が利用できなくなる期間がある。	○ ・新築工事が完了し全館コミセンとして運用開始されるのは令和11年度。 ・完成するまで既存の建物を活用可能である。	○ ・新築工事が完了し全館コミセンとして運用開始されるのは令和11年度。 ・完成するまで既存の建物を活用可能である。	△ ・工事が完了し全館コミセンとして運用開始されるのは令和11年度。 ・工事を実施する令和10年度にいすろぎ荘が利用できなくなる期間がある。